



留学生と地域の小規模小学校との交流を通じた岬町
地域活性化プロジェクト 2022年度事業報告書

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2023-04-18 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10466/00017958

留学生と地域の交流を通じた 大阪府岬町の地域活性化プロジェクト

〈2022 年度事業報告書〉



大阪公立大学 国際交流課



大阪公立大学
Osaka Metropolitan University

目次

はじめに	1
岬町との交流事業について	2
1. 小学校交流を通じた継続的な地域交流プロジェクト	8
2. 留学生と岬町地域住民との交流プロジェクト	16
3. 岬町の魅力発見プロジェクト	20
4. 留学生から見た岬町の魅力	23

はじめに

大阪公立大学は、2022年4月に大阪市立大学と大阪府立大学の統合により誕生しました。

本学は大都市大阪に位置する公立の総合大学として、大学の有する専門知の社会還元や地域とのつながりを重視した活動を展開しています。中でも大阪府岬町とは2011年度の包括連携協定締結を契機に、様々な分野で連携事業を実施しています。

また本学には毎年約600名の外国人留学生在学し、各分野において学修・研究活動を行っています。従来より留学生と地域との交流活動を行ってききましたが、2022年度は、大阪府岬町と連携した「留学生と地域の交流を通じた大阪府岬町の地域活性化プロジェクト」を実施しました。

このプロジェクトでは、留学生が岬町の人々、特に、地域の小学校の児童の皆さんと交流することにより地域の活性化に貢献すると同時に、留学生自身にとっても大学内だけでは得られない貴重な国際交流体験をすることを目的としています。特に、小中高校の早い時期に多様な文化や考え方に接することは、グローバル化に必要なマインドを形成する上で非常に重要です。児童の皆さんには将来ぜひ大阪公立大学に来ていただき、本学のグローバル化に貢献いただきたいと考えています。参加した留学生のレポートにありますように、児童の皆さんおよび留学生とも非常に楽しく過ごさせていただきました。

おかげさまで無事プロジェクトを完了することができ、この報告書にプロジェクトの概要や留学生の体験レポート等をまとめさせていただきました。今後のさらなる連携事業促進の一助となればと存じます。

プロジェクト実施にあたり岬町、岬町教育委員会、多奈川小学校の関係者の皆様、地元企業の皆様など多くの方々のご協力を賜りましたことに、あらためて感謝申し上げます。

岬町との交流事業について

「岬町での留学生学外研修」の経緯

2011年1月に田代岬町長と保井町長公室長が大阪府立大学を訪問され、学長室で包括連携協定が調印された。同席された南努元学長のはからいでこの協定は調印されたのだが、奥野学長（当時）は地域とともに歩む公立大学としてこの協定の実質化に強い意欲を示された。総合リハビリテーション学研究科が岬町と連携して栄養摂取のあり方について住民調査・指導を手がけるのもこの連携協定にもとづいてのことである。それから8年、2018年度は留学生学外研修を岬町と共に実施するとともに、公益財団法人中島記念国際交流財団から助成を受けるところまで漕ぎつけた。学外研修が岬町において「府大留学生による小規模小学校活性化事業」として位置づけられ、事業費の3分の1を町が負担することになったのである。また、そのような成果が認められたこともあり、2021年度については関西国際空港全体構想促進協議会からの助成を受けることができた。これまでも田代町長をはじめ岬町役場の皆様の全面協力の下、留学生学外研修を岬町で6回実施してきたが、予算の面においても共同化事業となり、さらに事業を発展できたことは大きな成果である。以下、順を追って経緯をお知らせしたい。

2011年9月：「第1回 留学生学外研修 in 岬町」留学生40名

保井室長と協議の場を持ち、岬町における第1回目の学外研修を実施した。午前は二手に別れ、第1グループは岬町水産資源研究センター訪問、第2グループは岬町国際交流サークルとともにビーチバレー（岬町は国際ビーチバレー大会の会場を提供していた）。午後は淡輪小学校を訪問し、各学年の教室で留学生と交流するプログラムを実施。淡輪小学校の児童たちと触れ合った。

2012年9月：「第2回 留学生学外研修 in 岬町」留学生30名

淡輪小学校児童との交流を午前に配置し、岬町のひとつの財産である美しい海を楽しんでもらうべく、午後から府立青少年海洋センターで2人乗りカヌーと関空クルーズを実施。また、この年から岬町国際交流サークルが主催する岬町国際交流夏祭りに本学の留学生も招待されるようになった。毎年、りんくうキャンパスの留学生が恩恵を受けている。

2016年9月：「第3回 留学生学外研修 in 岬町」留学生23名+日本人学生8名

事前に数回岬町に足を運び、保井室長の案内で岬町の候補地を見て回る。また、小学校訪問は議論の上、町内に4つある小学校のうち、1学年1クラスになった深日小学校と多奈川小学校に留学生を送ることにした。留学生が日本の学校を訪問し、教育システムの自国との違いや文化の違いを発見するだけでなく、生徒たちにとっても外国人・外国文化に触れ、他国の視線・関心を育むという双方向的な目的を設定することになった。

留学生第1グループは青木松風庵工場見学、第2グループは興善寺訪問。興善寺訪問グループは3体の重要文化財の歴史を学び、その価値の説明を受ける。

小学校訪問については、保井室長及び廣田教育委員会事務局次長とじっくりと話し合い、深日、多奈川両小学校長にも留学生受入れを事前にお願ひに行った。両小学校とも1学年1クラスで児童数1桁というケースもある。留学生との交流で明るい顔を取り戻してもらいたい。留学生たちは児童自身が給食を運び、配膳する姿に驚いていた。

2017年：共同事業化を実現！

「第4回留学生学外研修 in 岬町」留学生26名+日本人学生7名

「小規模小学校訪問&ホームステイ」留学生9名（12月、1月）

「府大留学生による小規模小学校の活性化」を前面に打ち出す。保井室長、澤教育委員会事務局課長らと協議。小学校訪問を複数回くり返すことで児童たちと留学生たちの交流を深めることを企画。加えて2度目、3度目の訪問の際に児童の家庭にホームステイを実施し、日本の家庭生活を留学生が知るという趣向も凝らした。

2018年：中島記念国際交流財団からの助成を実現！

「第5回留学生学外研修 in 岬町」留学生24名+日本人学生2名

「小規模小学校訪問&ホームステイ」留学生15名（11月、12月）

「留学生と地域の交流を通じた大阪府岬町の地域活性化プロジェクト」とし、中島記念国際交流財団からの助成を受けた。「留学生学外研修 in 岬町」、「小規模小学校の交流&ホームステイ」、「留学生と岬町地域住民の交流」の3つを企画した。残念ながら、「留学生と岬町地域住民の交流」については台風のため中止となったが、小学校訪問やホームステイの実施など、双方向型の事業となった。

2019年：引き続き中島記念国際交流財団からの助成を実現！

大阪市立大学留学生も参加！

「留学生と岬町地域住民との交流」留学生 19名

「第6回留学生学外研修 in 岬町」留学生 21名+日本人学生 2名

「小規模小学校訪問&ホームステイ」留学生 11名（12月に2回実施）

「留学生と地域の小規模小学校との交流を通じた岬町地域活性化プロジェクト」とし、中島記念国際交流財団からの助成を受けた。「留学生と岬町地域住民との交流」、「留学生学外研修 in 岬町」、「小規模小学校訪問&ホームステイ」の3つを企画した。ホストファミリーの募集については、小学生のご家庭、岬町の地域住民、岬町国際交流サークル、岬町教育委員会などの皆様にご協力いただき、留学生の反応もとてもよかった。このように双方向性の事業を継続することができた。

2021年：引き続き中島記念国際交流財団からの助成を得るとともに

関西国際空港全体構想促進協議会からの助成を実現！

「小学校交流を通じた継続的な地域交流」オンライン交流を実施

「植樹祭&岬町多奈川小フェスタへの参加」留学生 15名

「岬町魅力発見サイクリングツアーへの参加」留学生 8名

「小学校交流を通じた継続的な地域交流」、「植樹祭&岬町多奈川小フェスタへの参加」、「岬町魅力発見サイクリングツアーへの参加」の3つを企画した。コロナ禍の影響を受け大規模な交流機会は減少したものの、小学校児童との交流や植樹祭、サイクリングを通じて地域住民の皆様と深くあたたかい交流を再開することができた。

2022年：小学校との年間を通じた継続的な交流を実現！

「小学校交流を通じた継続的な地域交流プロジェクト」留学生 4名

「留学生と岬町地域住民との交流プロジェクト」留学生 13名

「岬町魅力発見プロジェクト」留学生 4名

コロナ禍に対応する新たな取り組みとして、固定学生を継続的に派遣し継続的な交流を実施。初回のオンライン交流含む年間計7回の交流では、小学生児童と留学生の深くあたたかい交流を実現した。また「留学生と岬町地域住民との交流プロジェクト」では、岬町・

福祉&多奈川小フェスタに参加し、留学生企画のブース出展を通じて、小学校児童や地域住民の皆さまとの交流を実施。「岬町魅力発見プロジェクト」では、児童と留学生がともに座禅を体験することで、それぞれの文化の違いや歴史を学ぶ機会となった。

2023年3月

大阪公立大学 国際交流課

大阪公立大学留学生と大阪府岬町の交流事業 2022

- 1. 小学校交流を通じた継続的な地域交流プロジェクト**
～多奈川小学校児童との交流～ 〈年7回〉
- 2. 留学生と岬町地域住民との交流プロジェクト**
～福祉&多奈川小フェスタ～ 〈年1回〉
- 3. 岬町の魅力発見プロジェクト**
～興善寺座禅体験～ 〈年1回〉

1. 小学校交流を通じた 継続的な地域交流プロジェクト

- 実施** : 2022年5月～2023年3月 計7回
参加者 : 留学生4名
児童 : 岬町立多奈川小学校の3年生の児童を中心とした交流
内容 : ●第1回（5月27日） オンライン交流
●第2回（6月24日） 興善寺にて座禅体験
●第3回（10月1日） 運動会
●第4回（10月15日） 福祉&多奈川小フェスタ
●第5回（11月11日） 学芸会
●第6回（12月16日） 留学生によるミニ授業
●第7回（3月16日） 修了式



2. 留学生と岬町地域住民との交流プロジェクト ～福祉&多奈川小フェスタ～

- 行事： 福祉&多奈川小フェスタ
主催： 多奈川地区福祉委員会・多奈川小学校
時期： 2022年10月15日（土）
派遣人数： **留学生13名**
内容： ・地域住民との交流
・留学生企画ブースの出展



3. 岬町町の魅力発見プロジェクト ～興善寺 座禅体験～

- 実施： 2022年6月24日（金）
参加者： **留学生4名**
内容： ・多奈川小児童と共に興善寺にて座禅を体験
・興善寺の歴史について学習



1. 小学校交流を通じた継続的な 地域交流プロジェクト

小学校交流を通じた継続的な地域交流プロジェクト 実施報告

本取組は前身である大阪府立大学時代から10年以上に渡って行われており、大阪公立大学と岬町の包括連携協定に基づき、本学留学生と岬町地域住民が本事業のイベントを通して交流をおこなってきました。

今年度は、より持続的な教育的効果の創出を図るため、年間を通じて複数回、本学の留学生4名と多奈川小学校児童（3年生）が交流するプログラムが実施されました。

○第1回（5月27日） オンライン交流

5月27日（金）、岬町立多奈川小学校3年生の児童8名とのオンライン交流を実施しました。留学生は自己紹介や自国の文化について紹介し、児童からは学校や地域についてクイズ形式の紹介がありました。オンラインではありましたが、好きな日本のアニメなどの話題などで相互に国際理解を深める交流初回となりました。

○第2回（6月24日） 興善寺にて座禅体験

20ページ参照

○第3回（10月1日） 運動会

10月1日（土）は岬町立多奈川小学校の運動会に参加し、大玉転がしや玉入れ、綱引きなどの競技を児童・保護者・地域の皆さんと一緒にいったほか、ダンスやリレーなどの児童の競技では、保護者・地域のみなさんと一緒に熱い声援を送りました。小規模小学校ならではの和気あいあいとした運動会の雰囲気存分に楽しんだ一日となりました。



○第4回（10月15日） 福祉&多奈川小フェスタ

16ページ参照

○第5回（11月11日） 学芸会

11月11日（金）、多奈川小学校の学芸会に参加し、児童たちの演劇を鑑賞しました。

留学生たちが年間を通して交流している小学3年生は、本学留学生に扮して、岬町で時空を飛び越えて旅行をする物語を演じました。劇のシナリオは小学生自身で考えられたもので、これまでに行った本学留学生との交流から、「留学生のお兄さんお姉さんが登場する演劇にしたい」との意見から出来上がったそうです。鑑賞した留学生たちは、「まさか小学生が自分の役を演じてくれるなんて！」と、とても興奮しながら演劇を楽しみました。



○第6回（12月16日） 留学生によるミニ授業

2022年12月16日（金）、本学留学生からの提案で、日本と中国の交流に関する歴史・発掘キットを使った考古学体験を、ミニ授業として小学3年生へ向けに行いました。

ミニ授業では、小学校児童と一緒に訪れた興善寺（岬町）での交流や、児童が演劇を披露した学芸会など、これまでの交流で留学生たちが学んだことについて、日本と中国の歴史に触れながら紹介しました。ミニ授業の内容から自身で考え、実際に小学生へ教鞭をする経験は、留学生にとってとても有意義な体験となりました。また、小学校児童たちにとっても新たな文化に触れる良い機会となった様子でした。



○第7回（3月16日） 修了式

2023年3月16日（木）、今年度の交流事業最後の交流として多奈川小学校にて修了式とお別れ会が実施されました。修了式では宇野校長先生から留学生一人ひとりに修了証が授与され、今年度の交流についての総括と、今後もぜひ岬町を訪れてほしいとのメッセージをいただきました。その後、児童の皆さんから歌のプレゼントがあり、留学生4名は合唱の声にじっと耳を傾けていました。

修了式の前後には最後の交流としてお別れ会も開催していただき、校庭でドッジボールやレンジおに、けいどろなどのゲームをしたり、児童が手作りしたおもちゃで遊んだりと最終回を締めくくる充実した1日となりました。



小学校交流を通じた継続的な地域交流プロジェクトへ 参加した思い出・感想をお聞かせください

オンライン交流

- 初めて会うので、子供たちはどんな話題に興味を持っているの分かりません、始まる前は少し緊張しました。顔合わせが始まったら、一番驚きと感動なことは、子供たちはすでに私たちの名前・興味・好きな食べ物などを覚えていました。そして彼らの学校生活に関するクイズも用意できているから、彼らとの会話がスムーズに展開しました。すごく元気な声で私たちと話しています、私の緊張感もだんだん消えました。オンラインでのイベントですが、すごく楽しい時間を過ごしました。
- 初めて多奈川小学校のみなさんと会うので、少し不安があったが、皆さんはとても明るくて、積極的に話しかけてくれて、とても賑やかな雰囲気でした。また、みなさんが事前に多奈川小学校や岬町に関するクイズを準備しておいたおかげで、双方のやりとりがとても順調で、楽しく過ごしました。私たちも多奈川小学校や岬町に関する面白い情報を得て、もっとみなさんと皆さんの学校生活と岬町での生活を知ることができました。
- 子どもたちに質問してもらっていくうちに、初めて会う緊張感が和らいでいった。
- 最初の顔合わせはとても緊張しました。廬さんや趙さんと違って、私は日本の小学生と話したことがなかったので、子どもたちとの距離感があったらどうしたらいいのかを心配しました。そして、小学生の皆様が準備していたクイズをやったら、子どもたちの熱意を感じてとても楽しかったです。

運動会

- 運動会は私にとって、とても遥かな記憶ですが、多奈川小学校の運動会に参加したことで、もう一回青に飛び込んでいる気持ちでした。皆さんから工夫した招待状もいただきました。運動会にも色々な運動項目に参加できました。例えば、綱引き、玉入れ、大玉転がしなどに参加しました。これらの運動項目は中国での運動項目とは異なって、とても新鮮感を味わっていました。異文化のとても楽しい体験でした。
- 全力で走ったり踊ったりしていた子どもたちの様子を見て、自分が小学校時代に参加した運動会を思い出した。
- 運動会当日の天気は最高でした。太陽の下でストレッチをするのがとても気持ちよかったです。みなさんは、チームワークの良さ、お互いを支え合うということを実感できたのではないのでしょうか。運動会の後、海岸線に沿って自転車で走りましたが、海風が本当に心地よく、またいつか必ず走りに行きたいと思います。

学芸会

- 素晴らしいパフォーマンスを鑑賞しました。行く前は「シンデレラガール」のような劇だと思ったんですが、全然違います。低学年の学生たちもすごく意味深い劇を演じました。一番感動したのは五年生たちが自作自演の「お母さんの木」です。最後にシーズンで、私も涙が出るほど感動しました。三回生の劇も面白いでした。私たち留学生との交流を筋として岬町の歴史・未来を演じて、環境保護の重要性を観客に伝えました。よく考えた素晴らしいストーリーでした。
- 一つ一つの演目が丁寧に準備され、完成度が非常に高いと思います。改めて小学生の能力を感じました。その後、月組の子どもたちから誕生日のお祝いをもらい、とても感動しました、皆さんありがとうございました。

留学生によるミニ授業

- 私たち留学生が主導したミニ授業です！準備をする時、たくさん心配していることがありました。授業内容をりかいてできるかな？手作業うまくいけるかな？時間大丈夫かな？...でも！本番の時、何も問題なかった順調に終わりました。時間もぴったりでした！子供たちは背景知識の部分もしっかり聞いて反応していました、発掘する時も楽しんでいました、ちゃんと記録シートを書いていました、発表もうまく行きました。私たちも手伝う時に、彼らとたくさんコミュニケーションをしました。一緒に発掘したこの「唐三彩」は彼らにとって、大切な思い出になれば幸いです。長い時間の交流、ありがとうございました、たくさん大切な思い出が作りました。
- ミニ授業は、興善寺での座禅体験に参加したことがきっかけで、日本と中国との交流の証をテーマにして、中国の遣唐使や唐三彩を皆さんに紹介しました。趙さんが唐三彩の発掘キットを利用し、ミニ授業で皆さんはとても興味津々で楽しく発掘できました。昔の唐と日本の交流や今の私たち留学生と多奈川小学校のみなさんとの交流が全部歴史の一環になるかもしれませんね。
- その授業内容に対して、子どもたちが満足できそうな顔を出してくれて、私の中からも満足感が生じてきた。
- 岬町メンバーの皆様、お疲れ様です。四人一緒のは久しぶりですよ。私たちが用意したミニ授業が面白かったのでしょうか。みんな素直な子で、ずっと話をよく聞いていました。質問に答えたり、発掘をしたりと、とても協力的でした、ありがとうね。



From 盧さん:



この一年間を通して、何回も海の絶景を見ながら、サイクリングで岬町を散策して、透き通る海に癒されました。



また、多奈川小学校の運動会に参加して、皆さんと一緒に色々な遊びをして、久しぶりの熱情あふれる皆の姿に感動しました。

ミニ授業でも皆さんと一緒に楽しく唐三彩を発掘したことで、日中の歴史について学び、お互いの絆が深く結びついたと思っています。

皆さんのクイズは面白かった、小学校と岬町のことを勉強した、オンラインだけど皆さんの熱意を感じたよ!

始めて対面でいろいろ話した。印象深いのは、一緒にぼんしょうを鳴らした

一緒に授業に参加した。「もし私たちが留学生から彼らに授業をしたら...」と思った...
↓まさか...実現した!!

とても楽しかった!!!
一年間の大切な思い出がありがとうございました!!!

生まれ初のフェス7 出展!!
小学生、地元の人々たくさん来てくれてありがとう!

感動しかない。また皆のパフォーマンスを見た!!!
また見たい!!!
また...

発掘体験を通して、日中両国の昔の交流を勉強した。「唐三彩」「奈良三彩」のように、今回の体験はきっと私たちの「交流の証」になる!!



From 程君 :



春休みが近づいてきましたが、皆さんは休み中に何をされますか？

皆さんは、4年生になり、学校のお兄さんお姉さんになりますから、準備はできていますか？

この1年間、いろいろな活動に参加して、皆さんは本当に素直でいい子たちだと思います。

程君はあなたが将来の夢を叶え、幸せな人生を送ることを祈っています。

勉強も遊びも全力で楽しんで、健やかに育ってくださいね。



2. 留学生と岬町地域住民との 交流プロジェクト

留学生と岬町地域住民との交流プロジェクト

実施報告

2022年10月15日（土）、本学留学生15名が大阪府最南端にある岬町を訪問し、岬町立多奈川小学校で開催された「岬町・福祉&多奈川小フェスタ」に参加しました。

フェスタ内では、地域の方々や小学生のブースが並ぶ中、本学留学生たちもブースを出展しました。出展内容は年間を通して小学生と継続して交流している中国人留学生4名が中心となって考え、中国でメジャーな遊びを元に発案した「異世界クイズ」を出展しました。中国らしい赤い提灯飾りには、「中国語で『ありがとう』と言えますか?」という中国に関するものから、「日本に来て驚いたことはなんですか」等のブースにいる留学生への質問を目的にしたものまで、会話が生まれ交流ができるように工夫された設問が吊るされていました。フェスタの開始とともに、小学生だけではなく、岬町の地域の方々も多く来られ、留学生たちはクイズ参加者へヒントをだしたり、自国に関することを話したりと岬町の方々と大いに交流しました。留学生たちが作った飾りは、フェスタ終了後に小学校に掲示されることとなり、年間を通して本事業に参加している留学生から小学校の先生へ進呈されました。

また、地域の方々が出すブースでは、日本のお祭りの定番である焼きそばやおでん、輪なげ等のブースが並び、留学生たちは日本のお祭りの雰囲気味わうことができました。フェスタの締めくくりには体育館にて、参加者全員を対象としたビンゴ大会が実施されました。日本のイベントではよく行われるビンゴですが留学生の中には初めて行う学生も多くおり、ビンゴが出るたびに歓声が上がる会場の雰囲気を楽しく満喫しました。今回のフェスタをきっかけとなって、普段は知り合う機会がない他キャンパスや学部が異なる留学生同士が交友を深めている様子が印象的でした。

フェスタ終了後は、岬町にあるせんなん里公園を訪れ、岬町の美しい海を堪能しました。澄み渡る秋空の下で、小学生や地域の方と交流し、一面に広がる自然を満喫した岬町での1日は、留学生にとって、有意義で忘れがたい日本での思い出となったことと思います。



出展ブース「異世界クイズ」



ブースで購入した昼食をともにする留学生たち

福祉&多奈川フェスタに参加した思い出・感想をお聞かせください

- 私たち留学生メンバーと一緒に企画してフェスタに出展しました。「異世界クイズ」というテーマで、いろいろなクイズを用意しました。来ていただいた小学生が多いでした。本当に嬉しいです。小学生が出展するフェスタに参加するのは初めてです。たくさんいい物を買いました。石で作ったマグネット、旧服で使ったハンカチやエコバッグなど、今でも自宅で使っています。そして三回生たちが育てた多肉植物も私の家を飾っています。
- いいイベントと思います。とても楽しかったです。
- 活動に参加してすごく楽しかったです。活動を通じて国際交流ができ、友達もできました。すごく有意義な活動だと思います。
- 生徒たちは面白くて、景色もいいと思います。日本学校のイベントを体験して貴重な経験を積んでいました。
- 楽しい一日を過ごしました。可愛い子供たちのダンスを見たり、防災に関する知識をたくさん学んだり、美味しいものいっぱい食べたりしました。また、いろんな国から来た留学生たちとも仲良くなりました。今回の活動を参加して、本当に良かったと思っています。



- It was a joyful experience where I met students from different countries and background. The Festival in Misaki Town was also amazing with all the entertaining events and cheap, delicious fast foods. I enjoyed the performance by the school kids and had a lot of fun on my trip.
- 子どもたちが出したブースで手作りの飾り物を買ったり、うちのブースに参加してくれた子どもたちと話したりしていて、非常に楽しかったです！！
- とても楽しかった。
- コアメンバーの皆様はマジでお疲れ様でした。この中華クイズは、企画から実施まで凄く時間をかかりました。皆ご苦労でした。最後にはすべて予定通りに実行され、その努力は無駄にはならなかったのは良かったです。



3. 岬町の魅力発見プロジェクト

岬町の魅力発見プロジェクト 実施報告

2022年6月24日(金)、中国からの留学生4名が岬町立多奈川小学校を訪問しました。留学生と小学校3年生の児童は、本年5月にオンライン交流を行っていましたが、対面で交流するのは今年初めてのことでした。

留学生と小学3年生の児童たちは互いに自己紹介を行い、ドッジボールを通じて交流を深めた後、852年に創建されたと伝えられる歴史ある興善寺を訪問しました。興善寺ではともに座禅を体験し、地域社会の歴史・文化を学習しました。短い時間ではありましたが、1日の交流・学習を通じて、岬町の文化や自然に触れ、地域小学校の子どもたちと交流できたことは、留学生にとって有意義な体験となった様子でした。



自己紹介の様子



興善寺の座禅体験の様子



興善寺鬼子母神堂での参拝の様子



長松海岸での様子

校外学習（興善寺での座禅体験）に参加した思い出・感想をお聞かせください

興善寺にて座禅体験

- 私が小学生の時、校外学習のことが一番好きです。まさか今でも校外学習に参加できます。そして今回は初めて子供たちと対面で話します。座禅体験が終わって、興善寺を観光する時、子供たちは梵鐘の前に集まって、そして私の名前を呼んで、一緒に鐘を鳴らしたいと言われました。彼らの熱意を心から感じました。今回は彼らの授業に参加するので、話す機会はそんなに多くないから、最後別れの時は少し残り惜しいです。
- 初めての座禅体験、ワクワクな気持ちで皆さんと一緒に参加しました。興善寺の座禅体験を通して、とてもココロが浄化された気がしました。また、暑い日にもかかわらず、多奈川小学校のみなさんはまだ小学生ですが、長い時間の座禅ができるのに感心しました。
- その日の暑さを気にせず、まじめに住職さんの話を聞いていた子どもたちをリスペクトします！
- 実は以前からお寺での仏教活動に興味があり、坐禅を体験できたのはとても嬉しかったです。まだみなさんは3年生なのに、マナーを守って坐禅を遂行して、みんな本当にすごいと思いました。（3年生の私なら絶対無理）。



4. 留学生から見た岬町の魅力

あなたがおもう岬町の魅力を教えてください。

- Misaki Town is beautiful and have many quiet and relaxing sites. The seaside is eye catching and the people at the festival was welcoming.
- 景色が綺麗、人たちは優しいです。
- 海がきれいです。都市と違う空気でリラックスすることができます。
- 岬町の海が印象に残っています。午後みんなと一緒に行ったせんなん里海公園の美しい景色は今でも鮮明に覚えています。海岸線に沿って歩いた時、涼しい海風やオレンジ色の夕日に心が癒されていました。私に感動を与えるのは岬町の一つの魅力だと感じます。
- 人が優しいかつ海が綺麗です。
- 長く海岸が続いて、心地良いところでした。エリアごとに様々な施設が利用できます。
- 岬町は海に近いので、海景色がとてもきれいです。バイクリングで海の絶景を見ながら、気持ちよく海風を感じられます。また、特色のあるお店もいっぱい並んでいて、美味しい「月化粧」の饅頭やオリジナルの一村法師のお寿司を賞味することができます。何より、岬町の人々はとても親切で、活気に満ちた地域だと思っています。
- 人。
今回交流している3年生だけではなく、他の学年の学生さん、地元の住民たちと話す時もありました、誰でも親切に私と挨拶してくれました。そして、一緒に話しました。岬町の人々の心からの暖かさを感じました。
- 自然風景が豊かだけでなく、歴史感に満ちたところも多い。
- 神藤さんみたいな立派な公務員がいることです。
ちょっと田舎なところですが、学校の職員も、地元の人たちも、みんな自分の人生を生きようとし、歴史を伝えようとし、子どもたちに幸せな子供時代を与えようとしている感じがして、凄くいいと思いますね。

岬町の魅力を外国人観光客にアピールするためには、 どのようなことができると思いますか？

- フェリー体験、バイクリング体験、魚三昧、森の冒険、昔生活の思い出体験...
- YouTube や Twitter で岬町観光協会の公式アカウントを作って、ホームページに更新された情報を同時にそのアカウントに投稿することができると思います。
- 美しいビーチを活用し、夏に花火大会を開催したら絶対人気が出そうですね。
- 宣伝ビデオを作るとか
- 海のこと魅力的です。
- SNS を活用して、定期的に岬町の写真とか、最近行われた活動とかアップロードすることで、より多くの人に岬町の魅力を伝えるようになります。
- 海岸で散歩するのはおすすめです。空気もおいしい、景色も綺麗、ストレスが解消できると思います。そして、自分的にはもし機会があれば、釣りをやりたいですね。
- SNS で岬町の写真や楽しいところを紹介する。

編集後記

2011年より継続実施してきた岬町と留学生の交流事業は、コロナ禍の影響を受けつつも2022年度も無事に実施することができました。今年度は新たな試みとして「小学校交流を通じた継続的な地域交流プロジェクト」を実施し、初回のオンライン交流を含む合計7回の交流を行いました。興善寺での座禅体験、小学校での運動会、留学生が企画・出展した福祉&多奈川小フェスタ、留学生を主役した創作劇を観覧した学芸会、そして留学生からのプレゼント企画として実施したミニ授業。初回は双方緊張の面持ちでスタートした交流でしたが、回を重ねるごとに関係性が深まり、修了式・お別れ会の日には、留学生の乗った車が見えなくなるまで手を振ってくれた児童のみなさんの笑顔が印象的でした。

留学生が岬町で体験したどのイベントも、大切な思い出として彼らの心に刻まれていることだと思います。多奈川小学校での子どもたちとの交流、澄み渡った海沿いや街並みを巡った岬町内の散策、寺院での歴史文化体験、そして、地域の皆様との交流は、留学生にとって日本をより深く知る貴重な機会となりました。留学生からの報告レポートにもございましたが、私どもも岬町の皆様からの温かい歓迎が非常に印象に残っております。このプログラムでなければ難しいであろう岬町の皆様との交流は、母国を離れて勉学に励む留学生たちにとって、心がほっとするような、嬉しいひとときとなったであろうと感じています。

実施にあたっては、岬町、岬町教育委員会、多奈川小学校、地元企業の皆様など多くの方々と、何度も協議を重ねて連携体制をとることができました。今年度のプログラムを実施する中でご協力いただきました地域の皆様を含め、ご協力いただいた全ての皆様に感謝のお礼申し上げます。

大阪公立大学
国際交流課

修了式 & お別れ会



3月16日、岬町立多奈川小学校にて修了式およびお別れ会が開かれました。
修了式では、年間を通して本交流事業へ参加した大阪公立大学の4人の学生へ、
地域の国際化・国際交流の推進に貢献したとして、岬町より修了証が発行されました。



**留学生と地域の交流を通じた
大阪府岬町の地域活性化プロジェクト（報告書）**

2023年3月 発行

大阪公立大学 国際交流課

〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1番1号

電話 072-254-9962 FAX 072-254-8145